

お楽しみもさることながら・・・

内部の研修会もありました

定期的に開かれる研修は、年間計画に沿って外部から講師を招いたり、職員がその専門知識を解説したりして行われます。



この日は冬季の面会制限期間中のため、職員が内部講師を務めて開催しました。

テーマは「看護と介護の連携」で、講師は看護師長。

高齢になると、身体のなかで様々な変化が表れてきますが、その変化を十分に理解しないと想像し難い事故を招きかねません。

日々の安心、安全な暮らしは、正確な介護知識と的確な技術に裏付けされて初めて実現されますが、あたりまえのように支援が提供できるのは、繰り返し確認することが必要なのです。

(右：厳しい顔(?)で講義を進める看護師長ですがホントは、やさしいのですヨ。ホントは。ネ)

